



11月1日

モスクワ日本人学校

校長 岡本 高一

## 挨拶の励行と言語活動の充実を目指して

校長 岡本 高一

新型コロナウイルスの再感染が広がりを見せています。学校でも感染防止に関して再度確認しながら教育活動を進めています。28日（木）からは、ロシア当局、モスクワ市の制限措置が始まっています。11月3日（木）からは4連休もあります、児童・生徒の健康管理には十分気を付けながら、生活することが一層大切になっています。

本校が大切にしている教育活動の1つに、礼儀作法、日本語を使った言語活動の充実があります。代表的なものが挨拶です。私は子供たちに、挨拶という礼儀作法をしっかり身に付けさせたいと考えています。「挨拶をしっかりしよう」という生活目標は、日本の学校では最も多い生活目標です。日本のお辞儀や会釈、挨拶をする文化を、しっかり身に付けさせたいと考えています。

「おはようございます」と言って軽く会釈をする。自分よりも早く出ている人に対する、ねぎらいの気持ちが込められていると言われる。毎朝、バスや自主登校の子供を迎えて「おはよう」と声を掛けると、多くの子供は「おはようございます」と返してくれます。自分の前に来て、深々とお辞儀をして挨拶をする子供もいます。コロナ禍ですので、大きな声で言う必要はありません。ただ、挨拶をする習慣は身に付けてほしいと思います。教室に入り先生と、そして子供同士で「おはようございます」としっかり挨拶ができる子供を育てたいと思っています。

「こんにちは」「こんばんは」漢字で書くと「今日は」「今晚は」です。その後に「ご機嫌はいかがですか」という言葉が略されていて、日中や夜に相手の調子を伺う気持ちが添えられた挨拶です。「ありがとうございます」「有難う」となり「あるのが難しい」「滅多にある事ではない」ということから、何かしてもらった時の、感謝の気持ちが表れています。

相手をねぎらったり、敬ったり、親しみをこめたり、気かけたり、相手を意識し、思いやる気持ちをもてるのが、日本の良き国民性であり強みです。日本人が誇れるコミュニケーション手段として身に付けさせ、人と協力して課題を解決することが不可欠な、これからの時代を生きる子供たちを支える大切なスキルとしてほしいと考えています。人数の少ない、お互いの挨拶が自然と出てくるアットホームな雰囲気のある、モスクワ日本人学校の特長を生かして、是非子供たちに身に付けさせたい日本文化です。

もう一つあります。日本語会話です。日本人学校の中では丁寧な日本語を使って会話させたいと思います。日本語が集団で使える環境は、海外ではなかなかありません。また、思春期（小学部高学年から中学部）になると言葉の使い方が乱れてくることがあります。乱暴な言葉を使ったり、俗語、省略語等の使用で言語環境が乱れがちになったりする事もあります。また、海外では子供たち自身、日本語に触れる機会が少ないと、どの言葉が正しいか判断できないこともあるかもしれません。学校には、児童・生徒同士が、お互いに日本語で話す機会がたくさんあります。授業中でも授業以外でも日本語での言語活動が活発に行われている環境です。是非、正しい日本語を話す機会を作りたいと思います。

職員室に入る時「小学部〇年の・・・です。〇〇先生はいらっしゃいますか」という話型があります。職員室に用事があった子供は必ずこの話型を使うことになっています。正しい日本語を体験的に身に付けさせていきます。

挨拶作法、正しい日本語の話し方をしっかり身に付けることが本校の役割の1つです。しかし、挨拶も正しい日本語も、学校だけではなかなか上手いきません。ご家庭でも挨拶と言葉遣いをもう一度ご確認いただき、海外だからこそ日本語にも、しっかり目を向けて行きましょう。

## 【11月行事予定】

- 11月 1日(月) 全校朝会  
2日(火) 小学部マラソン大会・モス日タイム  
3日(水) 中学部マラソン大会  
第7回学校運営委員会  
4日(木) 祝日(民族統一の日)  
5日(金) 振替休日  
7日(日) 第2回英語検定二次  
9日(火) モス日タイム  
12日(金) 中学部期末テスト  
16日(火) モス日タイム  
17日(水) 特別日課  
中学部校外学習(トレチャコフ美術館)  
19日(金) 学校公開(オンライン)  
23日(火) モス日タイム  
30日(火) モス日タイム

## 【11月の目標】

<生活>

- ・学習に集中して取り組もう。

<健康・安全>

- ・寒さに負けない服装をしよう。

## 【大使館情報】

29日(金) 大使館よりメールが届きました通り、ロシア入国後14日間の自己隔離措置が緩和されましたので、今後はロシアに戻ってきた直後でも、体調不良でない限り、登校可能になりましたのでお知らせいたします。



## 中学部「職業講話」

JBCの仲介のおかげで、今年は野村総合研究所モスクワ支店長のアンドレイ様にご来校頂きました。課題を見極め、情報を収集し、アクションの計画を練っていくのが仕事だと言われ、夜中までやることも多々あるとの事。本校の先輩でもある方の話を通して、一人一人何を掴んだのでしょうか。



## 引き続きコロナウイルス感染防止をお願いいたします！！

モスクワのコロナ感染状況が世界的にも注目を浴びる中、現在、何とか、通常授業が実施できていますのも、各ご家庭の意識の高さの表れではないかと感謝しています。しかし、長引くコロナ禍の中、初めの緊張感が薄れてきているのも事実です。児童・生徒も含めて、「自分の身は自分で守る」「防げるものは極力防ぐ」を合い言葉に、一人一人が意識して、この難局を乗り越えて行きましょう。

そのためには、何度も言われたことですが、

- できるだけ人混みを避ける。
- 外出時、マスクは常に！
- 家に帰ったら、すぐに手洗い・うがい！

## 【登校に関しては】

発熱・喉の痛み・咳・鼻水・腹痛などの風邪の症状があるときは、本人及び兄弟・姉妹の登校を控えてくださいますようお願いいたします。